

CHAPTER 1

概要

この章では、Cisco UCS C22 サーバ機能の概要を示します。

このサーバは、Cisco UCS C シリーズ ラックマウント サーバファミリの一部です。高性能な 1RU (ラックユニット)サーバです。スタンドアロン環境で動作することも、Cisco Unified Computing System (UCS)の一部として動作することもできます。

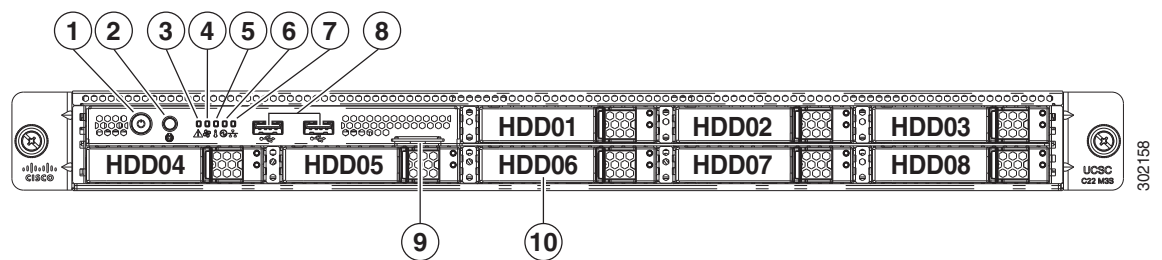
この章の図は、外部サーバの機構の概要を示します。内部サーバの機構は図 3-4(3-9 ページ)に示されています。

サーバは、2 種類の前面パネル/バックプレーン構成のうちそれぞれ 1 種類を持つ、2 種類のバージョンでオーダー可能です。

- Cisco UCS C22 M3 小型フォーム ファクタ (SFF) ドライブ (8 ドライブ バックプレーン)。最大 8 台の 2.5 インチ ハードドライブまたはソリッドステートドライブを装備できます。
- Cisco UCS C22 M3 大型フォーム ファクタ (LFF) ドライブ (4 ドライブ バックプレーン)。最大 4 台の 3.5 インチ ハードドライブを装備できます。

図 1-1 に、小型フォーム ファクタのドライブバージョンのサーバの前面パネルの機構を示します。

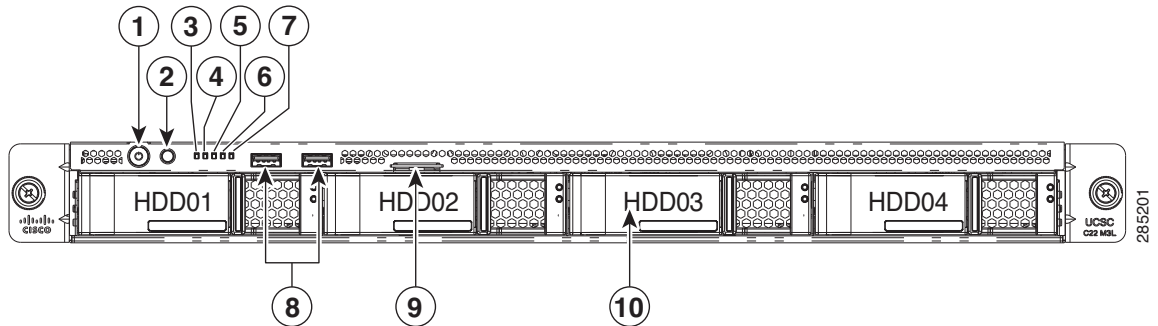
図 1-1 Cisco UCS C22 サーバ(小型フォーム ファクタ ドライブ)の前面パネルの機構



1	電源ボタン/電源ステータス LED	6	電源装置ステータス LED
2	ID ボタン/LED	7	ネットワーク リンク アクティビティ LED
3	システム ステータス LED	8	USB 2.0 ポート (2 個)
4	ファン ステータス LED	9	引き抜きアセット タグ
5	温度ステータス LED	10	ドライブ、ホットスワップ可能(最大 8 台の 2.5 インチ ドライブ)

図 1-2 に、大型フォームファクタのドライブバージョンのサーバの前面パネルの機構を示します。

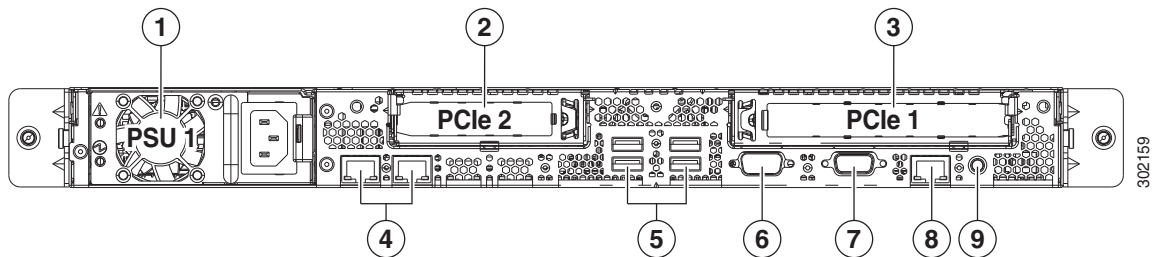
図 1-2 Cisco UCS C22 サーバ(大型フォームファクタ ドライブ)の前面パネルの機構



1	電源ボタン/電源ステータス LED	6	電源装置ステータス LED
2	ID ボタン/LED	7	ネットワーク リンク アクティビティ LED
3	システム ステータス LED	8	USB 2.0 ポート(2 個)
4	ファン ステータス LED	9	引き出し型資産タグ(シリアル番号)
5	温度ステータス LED	10	ドライブ、ホットスワップ可能(最大 4 台の 3.5 インチ ドライブ)

図 1-3 は、サーバの背面パネルの機構を示します(サーバの両方のバージョンで同じ)。

図 1-3 背面パネルの機構



1	電源モジュール	6	シリアル ポート(DB-9 コネクタ)
2	ライザー 2 上の PCIe スロット 2: (ハーフハイト、ハーフレンゲス、x8 レーン)	7	VGA ビデオ ポート(DB-15 コネクタ)
3	ライザー 1 上の PCIe スロット 1: (フルハイト、ハーフレンゲス、x16 レーン、 NCSI をサポート)	8	10/100/1000 Base-T イーサネット専用管理 ポート
4	デュアル 1-Gb Base-T イーサネット ポート (2 個)	9	背面 ID ボタン/LED
5	USB 2.0 ポート(4 個)		-

表 1-1 に、このサーバの機構を記載します。

表 1-1 Cisco UCS C22 サーバの機構



シャーシ	1 ラックユニット (1RU) シャーシ
プロセッサ	Intel Xeon E5-2400 シリーズ プロセッサ X 1 または 2
メモリ	サーバのマザーボード上に DIMM ¹ ソケット X 12 が搭載されています。  (注) シングル CPU 構成の場合、6 個の DIMM スロットのみがアクティブになります。
マルチビット エラー保護	このサーバはマルチビット エラー保護をサポートします。
ベースボード管理	Cisco Integrated Management Controller (Cisco IMC) ファームウェアを実行する Pilot III BMC。 Cisco IMC の設定に応じて、Cisco IMC には、1-Gb イーサネット専用管理ポート、デュアル 1-Gb イーサネット LOM ポート、または Cisco P81E 仮想インターフェイスカードからアクセスできます。
ネットワークおよび管理 I/O	このサーバの背面パネルには次のコネクタがあります。 <ul style="list-style-type: none"> • 10/100/1000 Base-T イーサネット専用管理ポート X 1 • 1 Gb Base-T イーサネット ポート X 2 • RS-232 シリアル ポート X 1 • VGA² ビデオ コネクタ X 1 • USB³ 2.0 コネクタ X 4 前面パネルには 2 個の USB 2.0 ポートもあります。
WoL	1 GB BASE-T イーサネット LAN ポートは、Wake-on-LAN (WoL) 規格をサポートしています。
電源	450 W 電源 X 1 または 650 W 電源 X 1。 電力仕様 (A-1 ページ) も参照してください。
ACPI	このサーバは、Advanced Configuration and Power Interface (ACPI) 4.0 規格をサポートしています。
冷却	ファン モジュール (前面から背面に向かう冷却用) X 5。
PCIe I/O	ライザー上に PCIe ⁴ 拡張スロット X 2 (水平に配置)。 スロットの仕様については、 PCIe カードの交換 (3-32 ページ) を参照してください。  (注) シングル CPU 構成の場合、PCIe スロット 1 のみがアクティブになります。
InfiniBand	このサーバのバス スロットは、InfiniBand アーキテクチャをサポートしています。

表 1-1 Cisco UCS C22 サーバの機構(続き)

ストレージ	<p>ドライブは、ホットプラグ可能なアクセスを備えた前面パネルのドライブベイに取り付けられます。2種類のバージョンのサーバ前面パネルおよびバックプレーンがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 小型フォームファクタドライブ:サーバは、2.5インチ(63.5 mm)の SAS⁵ または SATA⁶ ハードドライブあるいはソリッドステートドライブを 8 台まで収容できます。 • 大型フォームファクタドライブ:サーバは、3.5インチ(82.5 mm)の SAS または SATA ハードドライブを 4 台まで収容できます。
内部 USB のサポート	<p>サーバのマザーボード上には、USB メモリを追加ストレージとして利用可能な内部 USB 2.0 ソケット X 1 も搭載されています。</p> <p>サーバと合わせて、オプションでブランク 8-GB Cisco USB フラッシュドライブの USB ポートへのプレインストールを発注することができます。</p>
ディスク管理 (RAID)	<p>RAID⁷ コントローラ オプションと必要なケーブルの一覧については、RAID コントローラに関する考慮事項(C-1 ページ)を参照してください。</p>
RAID バックアップ	<p>シャーシ内には取り付けポイントが 1 つあり、LSI MegaRAID-CV カードとともに使用可能な w SuperCap 電源モジュールに使用できます。</p>
ビデオ	<p>Matrox G200e ビデオ コントローラ。60 Hz での最大 1920 x 1200、16bpp の解像度。最大 256 MB のビデオ メモリ。</p>

1. DIMM = Dual Inline Memory Module(デュアルインラインメモリモジュール)
2. VGA = Video Graphics Array(ビデオグラフィックスアレイ)
3. USB = Universal Serial Bus(ユニバーサルシリアルバス)
4. PCIe = Peripheral Component Interconnect Express
5. SAS = Serial Attached SCSI(シリアル接続 SCSI)
6. SATA = Serial Advanced Technology Attachment(シリアル ATA)
7. RAID = Redundant Array of Independent Disks(冗長ディスクアレイ)